



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月22日

上場会社名 住友大阪セメント株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5232 URL https://www.soc.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 関根 福一  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 神村 純 (TEL) 03-5211-4505  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	245,159	△2.4	16,128	13.7	16,947	7.3	10,922	40.1
2019年3月期	251,061	2.5	14,178	△25.3	15,799	△21.6	7,799	△46.8

(注) 包括利益 2020年3月期 9,027百万円(78.8%) 2019年3月期 5,049百万円(△59.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	283.21	—	5.6	5.2	6.6
2019年3月期	199.15	—	4.0	4.8	5.6

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 268百万円 2019年3月期 408百万円

(注) 当社は、2018年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、2019年3月期の「1株当たり当期純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	321,108	198,699	61.3	5,101.00
2019年3月期	324,755	194,138	59.2	4,985.49

(参考) 自己資本 2020年3月期 196,724百万円 2019年3月期 192,296百万円

(注) 当社は、2018年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、2019年3月期の「1株当たり純資産」を算定しております。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	32,305	△18,815	△12,959	15,799
2019年3月期	29,252	△20,032	△15,755	15,270

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	5.50	—	55.00	—	4,243	55.2	2.2
2020年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00	4,628	42.4	2.4
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 当社は、2018年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期第2四半期末の配当は株式併合前の株式数に応じて支払いを行ったため、1株当たりの配当金については株式併合前の金額を記載しております。株式併合後の基準で換算した2019年3月期の1株当たり年間配当金は、110円になります。

2. 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定です。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想については、現時点では合理的な算定が困難であるため、未定といたします。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	40,643,217株	2019年3月期	40,643,217株
② 期末自己株式数	2020年3月期	2,077,354株	2019年3月期	2,071,937株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	38,568,657株	2019年3月期	39,162,695株

(注) 当社は、2018年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、2019年3月期の「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	155,935	△0.9	11,334	16.8	12,409	11.9	8,157	73.9
2019年3月期	157,375	2.2	9,703	△33.8	11,088	△28.9	4,692	△59.1
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	211.51		—					
2019年3月期	119.81		—					

(注) 当社は、2018年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、2019年3月期の「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	273,244	162,751	59.6	4,220.09
2019年3月期	274,968	160,678	58.4	4,165.76

(参考) 自己資本 2020年3月期 162,751百万円 2019年3月期 160,678百万円

(注) 当社は、2018年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、2019年3月期の「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の業績予想については、現時点では合理的な算定が困難であるため、未定といたします。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 次期の見通し .....	3
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
4. 補足情報 .....	17
(1) 連結セグメント損益 .....	17
(2) 個別財務諸表 .....	18
(個別貸借対照表) .....	18
(個別損益計算書) .....	18
(個別株主資本等変動計算書) .....	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、通商問題の動向が世界経済に与える影響等による景気下振れ懸念があったものの、雇用・所得環境の改善や政府の経済対策等の効果もあり、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、期末に至り、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で大幅に下押しされ、厳しい状況となりました。

セメント業界におきましては、天候不順や技能労働者不足等の影響に加え、民間住宅投資が減少したことなどもあり、官公需、民需ともに減少したことから、セメント国内需要は、前期を3.8%下回る40,970千トンとなりました。一方、輸出は、前期を1.6%上回りました。この結果、輸出分を含めた国内メーカーの総販売数量は、前期を2.6%下回る51,480千トンとなりました。

このような情勢の中で、当社グループは、当期を最終年度とする「2017-19年度 中期経営計画」に基づき、セメント関連事業においては、「海外セメント戦略」・「周辺市場での拡大」・「事業基盤の強化」、高機能品事業においては、「主力製品の増産対応」・「新規事業・新製品の開発」に係る諸施策に取り組んでまいりました。

以上の結果、当期の売上高は、セメント事業等で減収となったことから、245,159百万円と前期実績を2.4%下回りました。

損益につきましては、セメント事業、建材事業、光電子事業等で増益となったことから、経常利益は、16,947百万円と前期に比べ1,147百万円の増益となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、10,922百万円と前期に比べ3,123百万円の増益となりました。

事業別の概況は、次のとおりであります。

#### セメント事業

販売数量が前期を下回ったことなどから、売上高は、188,800百万円と前期に比べ4,856百万円(2.5%)減となったものの、生産コスト等の削減により、営業利益は、8,247百万円と前期に比べ667百万円(8.8%)増となりました。

#### 鉱産品事業

骨材の販売数量が減少したことなどから、売上高は、12,640百万円と前期に比べ179百万円(1.4%)減となったものの、採掘コストが改善したことなどから、営業利益は、2,385百万円と前期に比べ24百万円(1.0%)増となりました。

#### 建材事業

コンクリート構造物補修・補強材の販売数量が増加したことなどから、売上高は、19,089百万円と前期に比べ624百万円(3.4%)増となり、営業利益は、1,824百万円と前期に比べ576百万円(46.2%)増となりました。

#### 光電子事業

新伝送方式用光通信部品の販売数量が増加したことから、売上高は、5,871百万円と前期に比べ113百万円(2.0%)増となり、生産コストが改善したことなどもあり、営業利益は、195百万円と前期に比べ767百万円の好転となりました。

#### 新材料事業

半導体製造装置向け電子材料の販売数量が減少したことなどから、売上高は、11,390百万円と前期に比べ614百万円(5.1%)減となり、営業利益は、1,850百万円と前期に比べ520百万円(21.9%)減となりました。

#### 電池材料事業

二次電池正極材料の販売数量が減少したことから、売上高は、1,250百万円と前年に比べ623百万円(33.3%)減となり、生産コストが改善したことなどから、損益は、287百万円の好転となったものの、149百万円の営業損失となりました。

#### その他事業

電気設備工事が減少したことなどから、売上高は、6,115百万円と前期に比べ366百万円(5.7%)減となったものの、コスト削減等により、営業利益は、1,859百万円と前期に比べ148百万円(8.7%)増となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当期末の総資産は、321,108百万円となり、前期末に比べ3,647百万円の減少となりました。これは、受取手形及び売掛金の減少等によるものです。

当期末の負債は122,408百万円となり、前期末に比べ8,208百万円の減少となりました。これは、有利子負債の減少等によるものです。

当期末の純資産は198,699百万円となり、前期末に比べ4,561百万円の増加となりました。これは、利益剰余金の増加等によるものです。

当期の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によって32,305百万円増加し、また、投資活動によって18,815百万円減少し、財務活動によって12,959百万円減少したこと等により、前期末に比べ529百万円の増加となりました。その結果、当期末の資金残高は15,799百万円（前期比3.5%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、32,305百万円（前期比10.4%の収入増加）となりました。これは、税金等調整前当期純利益15,503百万円、減価償却費18,283百万円をはじめとする内部留保等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、18,815百万円（前期比6.1%の支出減少）となりました。これは、固定資産の取得による支出18,433百万円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、12,959百万円（前期比17.7%の支出減少）となりました。これは、長期借入金の返済による支出10,270百万円があったこと等によるものです。

## (3) 次期の見通し

今後のわが国経済は、通商問題の動向が世界経済に与える影響等によるリスクに加え、新型コロナウイルス感染の影響による内外経済のさらなる下振れ等のリスクが存在しており、景気の先行きにつきましては、引き続き厳しい状況にあります。

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症に対する拡大防止策等の業績に与える影響や収束時期等を見通すことが困難な状況であることから未定といたします。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## (4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主各位に対する利益配分を、基本的には、収益に対応して決定する重要事項と認識しております。

この収益を将来にわたって確保するためには、装置産業であるセメント製造業として、不断の設備の改善、更新の投資が必要であり、このための内部留保の拡充も不可欠のことと考えております。

以上の観点から利益配分に関しては、安定的・継続的な配当を、1株当たり年間100円を基本に、経営全般にわたる諸要素を総合的に判断し決定してまいります。

2020年3月期につきましては、中間配当は1株当たり60円00銭を実施しました。期末についても、1株当たり60円00銭として定時株主総会にご提案させていただく予定です。

2021年3月期の配当につきましては、現時点では業績予想が困難であることから未定といたします。今後、業績予想の算定が可能となった時点で、合わせて配当予想を開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性等を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、今後の国内外諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,333	15,863
受取手形及び売掛金	50,061	48,359
商品及び製品	7,076	7,067
仕掛品	1,945	1,433
原材料及び貯蔵品	13,542	12,876
短期貸付金	554	547
その他	2,187	1,740
貸倒引当金	△12	△1
流動資産合計	90,687	87,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	169,259	173,057
減価償却累計額	△119,919	△122,620
建物及び構築物（純額）	49,339	50,437
機械装置及び運搬具	438,347	446,055
減価償却累計額	△382,522	△389,326
機械装置及び運搬具（純額）	55,824	56,728
土地	37,123	37,180
建設仮勘定	7,812	4,339
その他	35,158	37,529
減価償却累計額	△19,256	△19,808
その他（純額）	15,902	17,721
有形固定資産合計	166,002	166,407
無形固定資産	2,724	3,017
投資その他の資産		
投資有価証券	55,592	54,089
長期貸付金	2,801	2,774
繰延税金資産	1,199	1,216
退職給付に係る資産	419	382
その他	5,459	5,455
貸倒引当金	△131	△120
投資その他の資産合計	65,339	63,797
固定資産合計	234,067	233,222
資産合計	324,755	321,108

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,051	27,593
短期借入金	22,197	21,354
1年内返済予定の長期借入金	10,252	5,470
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払法人税等	2,018	2,736
賞与引当金	2,381	2,438
その他	10,730	10,848
流動負債合計	81,631	70,441
固定負債		
社債	5,000	10,000
長期借入金	18,613	15,783
繰延税金負債	11,250	10,525
役員退職慰労引当金	146	147
P C B廃棄物処理費用引当金	163	107
退職給付に係る負債	2,207	2,176
資産除去債務	1,046	1,041
その他	10,558	12,184
固定負債合計	48,985	51,966
負債合計	130,617	122,408
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,654	41,654
資本剰余金	24,558	24,558
利益剰余金	110,612	117,100
自己株式	△10,795	△10,819
株主資本合計	166,029	172,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,164	24,517
為替換算調整勘定	452	504
退職給付に係る調整累計額	△349	△791
その他の包括利益累計額合計	26,266	24,231
非支配株主持分	1,841	1,975
純資産合計	194,138	198,699
負債純資産合計	324,755	321,108

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	251,061	245,159
売上原価	200,756	193,491
売上総利益	50,305	51,667
販売費及び一般管理費	36,126	35,539
営業利益	14,178	16,128
営業外収益		
受取利息	65	81
受取配当金	1,731	1,606
為替差益	154	—
持分法による投資利益	408	268
受取賃貸料	140	135
その他	825	517
営業外収益合計	3,325	2,608
営業外費用		
支払利息	752	706
為替差損	—	149
その他	951	933
営業外費用合計	1,704	1,789
経常利益	15,799	16,947
特別利益		
固定資産売却益	135	144
投資有価証券売却益	288	6
特別利益合計	424	150
特別損失		
固定資産除却損	1,706	1,288
固定資産売却損	214	33
投資有価証券評価損	—	4
減損損失	2,292	268
特別損失合計	4,213	1,594
税金等調整前当期純利益	12,010	15,503
法人税、住民税及び事業税	4,016	4,243
法人税等調整額	85	197
法人税等合計	4,101	4,440
当期純利益	7,908	11,062
非支配株主に帰属する当期純利益	109	139
親会社株主に帰属する当期純利益	7,799	10,922

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	7,908	11,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,419	△1,644
為替換算調整勘定	△275	52
退職給付に係る調整額	△163	△441
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△1
その他の包括利益合計	△2,859	△2,035
包括利益	5,049	9,027
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,939	8,887
非支配株主に係る包括利益	109	139

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	41,654	29,284	107,228	△4,871	173,295
当期変動額					
剰余金の配当			△4,353		△4,353
親会社株主に帰属する 当期純利益			7,799		7,799
自己株式の取得				△10,652	△10,652
自己株式の処分		△0		2	2
自己株式の消却		△4,725		4,725	—
持分法の適用範囲の変 動			△60		△60
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△4,725	3,384	△5,924	△7,265
当期末残高	41,654	24,558	110,612	△10,795	166,029

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	28,584	727	△186	29,126	1,736	204,157
当期変動額						
剰余金の配当						△4,353
親会社株主に帰属する 当期純利益						7,799
自己株式の取得						△10,652
自己株式の処分						2
自己株式の消却						—
持分法の適用範囲の変 動						△60
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△2,420	△275	△163	△2,859	105	△2,753
当期変動額合計	△2,420	△275	△163	△2,859	105	△10,019
当期末残高	26,164	452	△349	26,266	1,841	194,138

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	41,654	24,558	110,612	△10,795	166,029
当期変動額					
剰余金の配当			△4,435		△4,435
親会社株主に帰属する 当期純利益			10,922		10,922
自己株式の取得				△24	△24
自己株式の処分		△0		0	0
自己株式の消却					
持分法の適用範囲の変動					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△0	6,487	△24	6,463
当期末残高	41,654	24,558	117,100	△10,819	172,493

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	26,164	452	△349	26,266	1,841	194,138
当期変動額						
剰余金の配当						△4,435
親会社株主に帰属する 当期純利益						10,922
自己株式の取得						△24
自己株式の処分						0
自己株式の消却						
持分法の適用範囲の変動						
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1,646	52	△441	△2,035	133	△1,901
当期変動額合計	△1,646	52	△441	△2,035	133	4,561
当期末残高	24,517	504	△791	24,231	1,975	198,699

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	12,010	15,503
減価償却費	18,546	18,283
減損損失	2,292	268
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△867	△634
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△14	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△23	△18
受取利息及び受取配当金	△1,796	△1,687
支払利息	752	706
為替差損益 (△は益)	8	76
持分法による投資損益 (△は益)	△408	△268
固定資産売却益	△135	△144
固定資産売却損	214	33
固定資産除却損	687	360
投資有価証券売却損益 (△は益)	△288	△6
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	4
売上債権の増減額 (△は増加)	2,524	1,690
たな卸資産の増減額 (△は増加)	157	1,173
仕入債務の増減額 (△は減少)	△514	△1,431
その他	△313	892
小計	32,830	34,802
利息及び配当金の受取額	1,791	1,714
利息の支払額	△750	△730
法人税等の支払額	△4,619	△3,480
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,252	32,305
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△20,563	△18,433
固定資産の売却による収入	509	297
投資有価証券の取得による支出	△4	△653
投資有価証券の売却による収入	330	14
貸付けによる支出	△563	△543
貸付金の回収による収入	199	570
その他	58	△67
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,032	△18,815

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	873	△840
長期借入れによる収入	5,426	2,680
長期借入金の返済による支出	△7,005	△10,270
社債の発行による収入	—	5,000
社債の償還による支出	—	△5,000
自己株式の売却による収入	2	0
自己株式の取得による支出	△10,652	△24
配当金の支払額	△4,353	△4,435
非支配株主への配当金の支払額	△4	△5
その他	△42	△62
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,755	△12,959
現金及び現金同等物に係る換算差額	△265	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,801	529
現金及び現金同等物の期首残高	22,072	15,270
現金及び現金同等物の期末残高	15,270	15,799

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

## I. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものである。

当社は、セメントセグメント及び事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「セメント」、「鉱産品」、「建材」、「光電子」、「新材料」、「電池材料」、「その他」の7つを報告セグメントとしている。

各セグメントの主要な製品は以下の通り。

報告セグメント	主要製品
セメント	各種セメント、セメント系固化材、生コンクリート、電力の供給、原燃料リサイクル
鉱産品	石灰石、ドロマイト、タンカル、骨材、シリカ微粉
建材	コンクリート構造物補修・補強（材料、工事）、各種混和剤、重金属汚染対策材、魚礁・藻場礁、電気防食工法、各種地盤改良工事、PC（製品、工事）、各種ヒューム管
光電子	光通信部品、光計測機器、光送受信機
新材料	各種セラミック製品、各種ナノ粒子材料、抗菌剤、化粧品材料、各種機能性塗料
電池材料	二次電池正極材料
その他	不動産賃貸、エンジニアリング、ソフトウェア開発

## Ⅱ. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント								注1 調整額	注2 連結
	セメント	鉱産品	建材	光電子	新材料	電池材料	その他	計		
売上高及び営業損益										
売上高										
(1)外部顧客に対する 売上高	193,656	12,819	18,464	5,757	12,005	1,874	6,482	251,061	—	251,061
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,086	4,240	2,546	—	—	—	6,340	16,213	△16,213	—
計	196,742	17,060	21,011	5,757	12,005	1,874	12,822	267,275	△16,213	251,061
セグメント利益又は 損失(△)	7,579	2,360	1,248	△572	2,370	△437	1,711	14,260	△81	14,178
セグメント資産	215,963	31,150	16,260	6,714	10,014	3,238	25,995	309,337	15,418	324,755
その他の項目										
減価償却費	13,598	1,956	473	773	789	345	586	18,523	23	18,546
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	15,002	1,857	322	127	1,558	71	103	19,043	—	19,043

(注) 1. 調整額は以下の通りである。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△81百万円は、セグメント間取引消去である。

(2) セグメント資産の調整額15,418百万円は、事業セグメントに配分していない全社資産36,493百万円及びセグメント間取引消去△21,075百万円である。全社資産は、主に当社の長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等である。

(3) 減価償却費の調整額23百万円は、全社資産に係る償却額41百万円及びセグメント間消去△18百万円である。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント								注1 調整額	注2 連結
	セメント	鉱産品	建材	光電子	新材料	電池材料	その他	計		
売上高及び営業損益										
売上高										
(1)外部顧客に対する 売上高	188,800	12,640	19,089	5,871	11,390	1,250	6,115	245,159	—	245,159
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,865	4,052	2,741	55	—	—	5,401	15,116	△15,116	—
計	191,665	16,692	21,830	5,927	11,390	1,250	11,517	260,275	△15,116	245,159
セグメント利益又は 損失(△)	8,247	2,385	1,824	195	1,850	△149	1,859	16,212	△84	16,128
セグメント資産	221,115	30,379	17,254	5,685	10,559	2,565	25,465	313,024	8,084	321,108
その他の項目										
減価償却費	13,919	1,793	463	640	771	97	579	18,265	17	18,283
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	15,906	2,652	486	361	754	42	42	20,245	—	20,245

(注) 1. 調整額は以下の通りである。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△84百万円は、セグメント間取引消去である。

(2) セグメント資産の調整額 8,084百万円は、事業セグメントに配分していない全社資産30,143百万円及びセグメント間取引消去△22,058百万円である。全社資産は、主に当社の長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等である。

(3) 減価償却費の調整額17百万円は、全社資産に係る償却額40百万円及びセグメント間消去△23百万円である。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

## b. 関連情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略している。

## 2. 地域ごとの情報

売上高及び有形固定資産

本邦の売上高及び有形固定資産の金額は、連結損益計算書の売上高の合計及び連結貸借対照表の有形固定資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、地域ごとの情報の記載を省略している。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略している。

## 2. 地域ごとの情報

売上高及び有形固定資産

本邦の売上高及び有形固定資産の金額は、連結損益計算書の売上高の合計及び連結貸借対照表の有形固定資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、地域ごとの情報の記載を省略している。

## c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント								調整額	連結
	セメント	鋳産品	建材	光電子	新材料	電池材料	その他	計		
減損損失	3	3	—	—	—	2,268	16	2,292	—	2,292

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント								調整額	連結
	セメント	鋳産品	建材	光電子	新材料	電池材料	その他	計		
減損損失	268	—	—	—	—	—	—	268	—	268

## d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度	当連結会計年度
	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日	自 2019年4月1日 至 2020年3月31日
1株当たり純資産額(円)	4,985.49	5,101.00
1株当たり当期純利益(円)	199.15	283.21

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度	当連結会計年度
	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日	自 2019年4月1日 至 2020年3月31日
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	7,799	10,922
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	7,799	10,922
期中平均株式数(株)	39,162,695	38,568,657

3. 当社は、2018年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、前連結会計年度の「1株当たり純資産額」、「1株当たり当期純利益」及び「期中平均株式数」を算定しております。

## (重要な後発事象)

2020年4月1日に2020年9月末を償還日とした総額50億円の短期社債を発行いたしました。

その概要は次の通りであります。

- (1) 発行総額 50億円
- (2) 利率 0.01%
- (3) 払込期日 2020年4月1日
- (4) 償還期間 6カ月
- (5) 資金使途 運転資金

## 4. 補足情報

## (1) 連結セグメント損益

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	前年同期比	増減率(%)
セメント	193,656	188,800	△4,856	△2.5
鋳産品	12,819	12,640	△179	△1.4
建材	18,464	19,089	624	3.4
光電子	5,757	5,871	113	2.0
新材料	12,005	11,390	△614	△5.1
電池材料	1,874	1,250	△623	△33.3
その他	6,482	6,115	△366	△5.7
外部顧客に対する売上高	251,061	245,159	△5,902	△2.4
セメント	7,579	8,247	667	8.8
鋳産品	2,360	2,385	24	1.0
建材	1,248	1,824	576	46.2
光電子	△572	195	767	—
新材料	2,370	1,850	△520	△21.9
電池材料	△437	△149	287	—
その他	1,711	1,859	148	8.7
調整額	△81	△84	△2	—
営業利益	14,178	16,128	1,949	13.7
営業外収益	3,325	2,608	△716	△21.5
営業外費用	1,704	1,789	85	5.0
営業外損益	1,621	819	△801	△49.4
経常利益	15,799	16,947	1,147	7.3
特別利益	424	150	△273	△64.5
特別損失	4,213	1,594	△2,618	△62.2
特別損益	△3,789	△1,444	2,345	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,799	10,922	3,123	40.1

## (2) 個別財務諸表

(個別貸借対照表)

(単位：百万円)

科目	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)	比較
(資産の部)	274,968	273,244	△1,724
流動資産	62,532	60,795	△1,737
現金及び預金	11,944	13,067	1,123
受取手形及び売掛金	30,734	28,234	△2,500
棚卸資産	15,191	14,728	△462
その他流動資産	4,661	4,764	102
固定資産	212,435	212,448	12
有形・無形固定資産	137,606	138,897	1,290
投資有価証券	51,283	48,923	△2,360
その他固定資産	23,545	24,628	1,083
資産合計	274,968	273,244	△1,724
(負債の部)	114,289	110,492	△3,796
流動負債	73,630	66,880	△6,749
支払手形及び買掛金	16,667	17,613	945
社債・短期借入金	44,059	36,688	△7,371
その他流動負債	12,903	12,579	△324
固定負債	40,659	43,612	2,952
社債・長期借入金	18,715	21,465	2,750
繰延税金負債	11,075	10,584	△491
その他固定負債	10,868	11,561	692
(純資産の部)	160,678	162,751	2,072
資本金	41,654	41,654	—
資本剰余金	24,513	24,513	△0
利益剰余金	79,203	82,925	3,721
自己株式	△10,795	△10,819	△24
評価・換算差額等	26,103	24,477	△1,625
負債、純資産合計	274,968	273,244	△1,724

(個別損益計算書)

(単位：百万円)

科目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	比較
売上高	157,375	155,935	△1,440
売上原価	121,354	118,541	△2,813
販売費及び一般管理費	26,317	26,059	△257
営業利益	9,703	11,334	1,630
営業外収益	2,769	2,497	△272
受取利息及び配当金	2,015	1,956	△58
その他営業外収益	754	540	△213
営業外費用	1,385	1,422	37
支払利息	575	546	△28
その他営業外費用	810	875	65
経常利益	11,088	12,409	1,320
特別利益	385	90	△295
特別損失	4,102	1,303	△2,798
税引前当期純利益	7,371	11,195	3,823
法人税等	2,679	3,038	358
当期純利益	4,692	8,157	3,465

## (個別株主資本等変動計算書)

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金					
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金					利益剰余金合計
					探鉱準備金	固定資産圧縮積立金	特別償却準備金	別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	41,654	10,413	14,099	24,513	53	2,178	0	25,097	51,873	79,203
当期変動額										
剰余金の配当									△4,435	△4,435
探鉱準備金の積立					6				△6	—
探鉱準備金の取崩					△29				29	—
固定資産圧縮積立金の取崩						△56			56	—
特別償却準備金の取崩							△0		0	—
当期純利益									8,157	8,157
自己株式の取得										
自己株式の処分			△0	△0						
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	△0	△0	△22	△56	△0	—	3,801	3,721
当期末残高	41,654	10,413	14,099	24,513	31	2,122	—	25,097	55,675	82,925

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	其他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△10,795	134,575	26,103	26,103	160,678
当期変動額					
剰余金の配当		△4,435			△4,435
探鉱準備金の積立		—			—
探鉱準備金の取崩		—			—
固定資産圧縮積立金の取崩		—			—
特別償却準備金の取崩		—			—
当期純利益		8,157			8,157
自己株式の取得	△24	△24			△24
自己株式の処分	0	0			0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△1,625	△1,625	△1,625
当期変動額合計	△24	3,697	△1,625	△1,625	2,072
当期末残高	△10,819	138,273	24,477	24,477	162,751